

来年、2025年4月2日の香川大学入学式は、



Copyright(C)2021 Kagawa Prefectural Government and SANAA. All rights reserved.

あなぶきアリーナ香川
(香川県立アリーナ)で
挙行いたします。

香川大学は、令和7年4月2日(水)に来年
2月開館予定のあなぶきアリーナ香川にて
学部・大学院合同での令和7年度入学式を
挙行いたします。これまでご遠慮いただい
ておりました式場内への付添者の方のご参
列も可能となる予定です。詳細については、
今後、香川大学ホームページにて随時公表
予定としておりますので、ご確認ください。

Topics

香川大学のトピックス(4月～10月)を紹介します。 ※ 詳しい記事はQRコードよりご覧いただけます。

令和6年度新入生歓迎祭を開催



令和6年度新入生歓迎祭を
幸町キャンパスで開催しま
した。当日はあいにくの雨で
したが、午前・午後で約100のサークル
やプロジェクト団体がそれぞれのブース
を設けた教室と、17のサークルが講堂
で日頃の練習の成果を披露し、大盛況
のうちに終えることができました。
同日お昼には、今年度も新入生を対象
にうどんが振舞われ、多くの喜びの声
が聞かれました。

能登半島地震被災地(石川県珠洲市)で支援活動を実施しました



防災士養成プログラム参加
学生(機能別消防団員等を
含む)17名と教職員が、能登
半島地震により被災した石川県珠洲市
で、住民からの要望に基づき被災家屋
内の家財道具等の分別、不要家財等の
搬出作業等に従事しました。1泊4日と
いう過酷な計画でしたが、住民の方々
から感謝の声をいただき、参加学生も
積極的な感想を述べていました。今後
も被災地支援活動を継続的に実施して
いく予定です。

香川大学学業優秀者学長表彰式を実施



学業成績及び人物共に特に
優れていると認められた
学生を例年表彰しており、
今年度は、学部学生40人、大学院生
15人が選ばれました。学業優秀者
には、学長から表彰状と記念品のクリ
スタルトロフィーが授与されました。
また、本学校友会よりAmazonギフト
券が贈られました。表彰式終了後には
教員・職員・学生を交えて、グループ
ディスカッションが行われ、活発な意
見交換が行われました。

「地域観光チャレンジ2024」成果発表及び最終審査会を開催



「地域観光チャレンジ」は
四国の4国立大学とJR四国
が、四国が抱える地域経済
の課題に向き合い、持続可能な観光
振興に向けて旅行プランを企画する
取り組みです。審査の結果、金賞・銀
賞各1チーム、銅賞2チームが選ば
れ、本学の学生が考えたプランは銀
賞と銅賞に選ばれました。なお、今
回最終審査会で発表を行った8チ
ームのプランは、来年の旅行商品
としてJR四国から販売される予
定です。

日本初! ギフテッド教育に関する国際会議を香川大学で開催



ギフテッド教育に関する国際
会議APCG2024「アジア
太平洋ギフテッド教育研究
大会」を開催し、27の国と地域
から研究者や教員が参加しました。
この会は「ギフテッド」と呼ばれ
るような特定の分野で特異な才能
を持つ子どもたちの教育について
考えるもので、初めての日本開
催となる大会でした。「ギフテ
ッド」と呼ばれるような子ども
への理解を深め、最新の知見を
学べる有意義な時間となりました。

香川大学が「香川・時空間デジタルアーカイブ」をついに公開!



イノベーションデザイン研
究所プロジェクトリーダー
の國枝孝之准教授を中心に、
書物や写真をデータ化して時代
背景や人々の暮らしなどを時空
間にアーカイブする「時空間デ
ジタルアーカイブ事業」に取り
組んできました。廃藩置県にお
ける香川県独立に尽力した中
野武宮のライフヒストリーを、
当時の写真や地図とともに追
体験できるような「香川・時
空間デジタルアーカイブ」。ぜ
ひご覧ください。

香川大学から保護者の皆様へ



香川大学

OLIVE 通信

vol.13
2024.10

香川大学広報室 〒760-8521 香川県高松市幸町 1-1 Tel.087-832-1027 Mail:kouhou-h@kagawa-u.ac.jp

イノベーションに接して自律性や創造力を育む



香川大学 理事・副学長
(研究担当)
秋光 和也

10月から後期が始まり、
夏休み明けの学生でキャン
パスも賑わいを取り戻しま
した。保護者の皆様には、お
子様の学業の進捗、夏休み
を経た生活リズムの変化
等、気掛かりな事もあるか
もしれませんが、教職員一
同、学生諸氏の変化に気を
配り、充実したキャンパス
ライフを送れるよう最大の
配慮をして参ります。

さて、大学における学生諸氏の学業では、高校教育
までの学びのスタイルをさらに広げ、教科書や講義で
基礎知識・専門知識を広く深く理解するだけではなく、
自律性や創造力を豊かにすることも重要になります。
そのため、キャンパス内で様々なイノベーション(革
新的な技術・発想で新たな価値を生み出し、社会に大
きな変化をもたらす取り組み)に身近に接し、これら
をモデルケースとして学ぶことにより、自律性や創造
力を自然に育み、より効果的に吸収して頂きたいと考
えています。そこで、今回はモデルケースとなる香川
大学のイノベーションを3つご紹介いたします。

まずは希少糖研究です。希少糖とは、自然界に存在
量が少ない単糖とその誘導体の総称で、希少糖とい
う言葉は、本学の何森(いずもり)健名誉教授が、ご
自身の研究対象を説明するために創った造語です。一
研究者が創った造語が、後に(2018年)「広く社
会に認知された言葉」の一つとして、

広辞苑に記載されました。この時同時に記載され
た言葉は、スマホ、アプリ、そして何と「讃岐うどん」
で、マスコミにも大きく取り上げられました。希少糖
生産酵素を持つ微生物の発見から、30年余を経て、
今ではカロリーゼロで、食後の血糖値上昇抑制・脂
肪燃焼促進機能等をもつ甘味素材として、市場がグ
ローバルに展開し始めています。

2つ目は、瀬戸内海の海域環境研究です。赤潮研
究に代表されるように、本学では瀬戸内圏研究セン
ターを中心に、海域環境研究を長く進めています。
これらの研究に加え、近年工学的要素を含む藻場形
成の拡大に向けたカーボンニュートラル関連研究や、
海域環境におけるプラスチック問題等の研究が精
力的に進んでいます。さらに、東京藝術大学との共
同プロジェクトで、これらの科学的な研究成果をア
ートの表現力で発信し、より広く社会に浸透させ
る試みも始まりました。

3つ目は、様々なデバイスの開発です。一例をあ
げると、高尾英邦教授のタッチングセンサーは、10
種類の異なるブランドのティッシュペーパーを見
分けることが可能だそうです。ヒトの指先の触感
覚では、約30%しか見分けることが出来ません
が、このセンサーはほぼ全て見分けることが
でき、髪の毛や肌の具合を、人の感覚以上に評
価できる機器類の開発等にもつながると考えられ
ます。

自由な発想で様々なイノベーションへの試みが
粘り強く繰り返される「大学キャンパス」。この
中で、若く感受性の高い学生諸氏が、自律性
や創造力を自然に育み、香川大学の学風が薫
る人材として社会で大活躍してくれるよう
に、努力を続けて参りたいと思います。

香川大学支援基金

● ご支援いただいた方は税制上優遇措置が受けられます

ご寄附の方法が選べます

■ クレジットカードや振込用紙など
寄附方法をお選びいただけます。
ご利用いただけるクレジットカードの種類は
支援基金のホームページをご覧ください。

香川大学から感謝を込めて

■ ご寄附いただいた方全員
ご了承を得て、ご芳名を大学ホームページ等に掲載いたします。
■ 個人10万円以上、法人・団体30万円以上寄附された方
感謝状と記念品の贈呈／銘板による顕彰(ご芳名の銘板を学内に掲示し、末永く顕彰いたします。)

詳しくは、香川大学支援
基金ホームページ
<https://www.kagawa-u.ac.jp/kikin/>

